

# 第 1 回業務体験発表会 開催案内

主催 (社)日本コンクリート診断士会・技術部会

会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと思います。

さて、昨年の筐子トンネル事故をきっかけに社会資本の予防保全・老朽化対策が本格化しており、コンクリート診断士への期待もますます高まっています。しかしながら、同じ資格保有者でも技術力の差があり、また、地域の特性等によりオールラウンドの技術を習得するのも難しいことも事実です。この度開催する「業務体験発表会」は、これらを補完することを期待するとともに、本会の目的のひとつである会員の資質向上を目的に開催するものであります。

12名の会員の皆様から申し込みがあり、そのうち9名の方に当日発表いただく予定です。各地区の会員からの体験談を聞ける絶好の機会ですので、是非、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、本発表会は土木学会 CPD プログラムの認定予定です。

## 記

1. 日時 平成 26 年 2 月 26 日 (水) 13:00~17:30
2. 会場 日本コンクリート工学会 11 階会議室 千代田区麴町 1-7 相互半蔵門ビル  
東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅 1 番出口より 100m
3. プログラム
  - (1) 開会挨拶 林 静雄会長 13:00~13:05
  - (2) 会員によるコンクリート体験発表
    - 1)大井コンテナ埠頭電気防食の維持管理 峰松 敏和様 (東京) 13:05~13:25
    - 2)ひび割れに着目したコンクリート構造物の診断 小野 定様 (東京) 13:25~14:45
    - 3) 60 年経過ボーステン PC 橋の健全性調査 天谷 公彦様 (福井) 14:45~15:05
    - 4)東名高速道路跨道橋の剥落対策 松井 譲様 (静岡) 15:05~15:25
    - 休憩 15:25~15:35
    - 5)トンネルの変状劣化と THI を用いた健全度評価手法 古川 博人様 (石川) 15:35~15:55
    - 6)無人ヘリによるコンクリート構造物の点検事例 十河 茂幸様 (広島) 15:55~16:15
    - 7)無機系簡易ひび割れ補修材の効果検討報告 天野 智雄様 (静岡) 16:15~16:35
    - 8)PC 道路橋の補修補強工事 (グラウト再注入再緊張) 濱渦 康博様 (高知) 16:35~16:55
    - 9)無機系材料によるひび割れ補修の止水効果 (仮) 鈴木 輝彦様 (東京) 16:55~17:15
    - 10)報文のみの方 (3 名) の紹介 技術部会 17:15~17:25
  - (3) 閉会挨拶 小野副会長 17:25~17:30

4. 参加費

会 員：2,000 円 (資料代等)

非会員：4,000 円

なお、参加費は当日会場で徴収いたします。

総会終了後、ダイヤモンドホテルにて会費 3,000 円で交流会を予定しております。(参加自由)

5. 定 員

70 名程度

6. 申し込み方法及び締め切り

申込みは、メールまたはファックスで当会事務局まで、お申込みください。

(交流会のご出欠予定も必ず記入してください)

Email : info@jcd-net.or.jp Fax : 042-320-5506

申込期日 : 2 月 19 日 (水)

7. お問い合わせ Tel : 042-328-0337 E-mail : info@jcd-net.or.jp

緊急連絡先 毎田 : 090-2178-3111

(急遽参加できなくなった場合等にご連絡ください)

以上